会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（東海岸北四丁目自治会）
2　日時	平成30年8月23日（木）9：30～10：30
3　場所	海岸地区コミュニティセンター
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、水本主事 （環境事業センター）尾坂主幹、鈴木主事 （東海岸北四丁目自治会）参加人数：17人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化の先行市における袋の値段の根拠がわかれば教えてもらいたい。 →全国60パーセント以上の自治体で実施されている中で、前例を考慮にいれながら金額を決定したのではないかと思われる。また、大学の調査によると、1,500円前後という金額は、ある程度負担を感じる金額で、将来に渡り、ごみを減量しようという意識が働く金額であることがわかっている。 ●剪定枝については、茅ヶ崎市では年間どのくらい出ているのか。 →草・雑草類を入れると2,600t程度、枝・幹のみだと500t程度である。それらを資源化するには、施設に持ち込み、細かいチップにするなど費用がかかるが、茅ヶ崎市では、現状では資源化に至っていない。今後は、資源物の品目の拡大をするなど、ごみを減らすための施策を考えなければならないので、現在、剪定枝は燃やせるごみまたは燃やせないごみという分類であるが、資源化について研究していきたい。 ●剪定枝が資源物として出せれば、それだけで2,600tもごみが減ることになる。ぜひ資源化の検討を進めてもらいたい。 →ご意見として承る。 ●平成31年度に有料化と戸別収集について実施の可否を決定するとのことだが、戸別収集についてはぜひ実施してもらいたい。我が家は12軒で１箇所の集積場所を使っているが、すぐ隣では３、４軒で１箇所の集積場所を使っている。戸別収集が出来ないのならば、８軒以下でも集積場所設置の申請を受け付けてもらえるようにしてもらいたい。 →戸別収集については、神奈川県内では大和市、藤沢市の２市のみが実施している。同じように有料化を実施している鎌倉市、逗子市で戸別収集を実施していないのは、非常に経費がかかるというところが主な理由である。現在、茅ヶ崎市で実施する場合、どれ程の経費がかかるのかを調べているところである。当然、収集車が入れないような狭い道は軽トラックで収集に行き、軽トラックでも入れないような狭い道は歩いて収集に行くことになる。戸別収集を実施すれば、車両の増加が必要となり、人件費も

	かさむので、それを踏まえて実施できるか検討するところである。 ●47.1%が厨芥類とあるが、最近では生ごみ処理容器やミミズコンポストなど利用している人も多くいる。生ごみは自分で処理しようというような啓発を、市が率先してやるべきではないか。 →現在、茅ヶ崎市ではコンポストや家庭用生ごみ処理機の購入費補助を行っている。コンポストは畑や庭に設置し、生ごみを堆肥化するものである。家庭用生ごみ処理機は、台所などにおいて主に電動で生ごみを乾燥又は堆肥化するものである。これまでも周知啓発をおこなってきたが、今後も、ごみ通信ちがさきやイベントなどを通して啓発に力を入れていきたいと考えている。 ●コンポストや家庭用生ごみ処理機の補助台数はどのくらいか。 →平成28年度ではコンポストは69台､電動生ごみ処理機は34台の補助をおこなった。 ●紙の分別のチラシの中で、リサイクルできないものとしてヨーグルトの容器が掲載されているが、これまで牛乳パックと同じだと思い雑紙として出してきた。雑紙として古紙の日に出してはいけないのか。 →紙のリサイクル業者に聞いたところ、ヨーグルトの容器は牛乳とは違う加工がされているとのことであるので、燃やせるごみとして出すようお願いしたい。 以上